

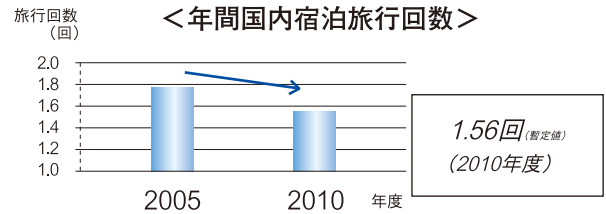
## 4 国内外の旅行動向

現在、沖縄を訪れる観光客の9割以上は日本人観光客です。しかし、国民一人あたりの国内宿泊旅行回数、宿泊数、世帯あたりの旅行関連支出ともに減少傾向にあります。

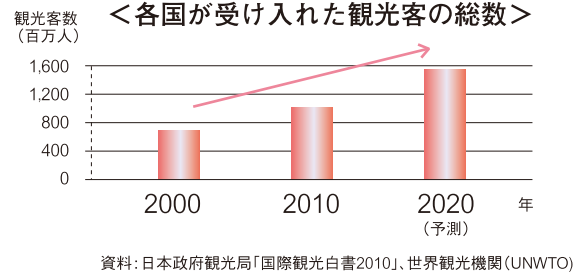
一方で、世界全体では観光客数は増加しており、今後も増加することが予測されています。そのため、日本政府も訪日外国人を2020年初めまでに2,500万人、将来的には3,000万人という目標を掲げています。



＜年間国内宿泊旅行回数＞



＜各国が受け入れた観光客の総数＞

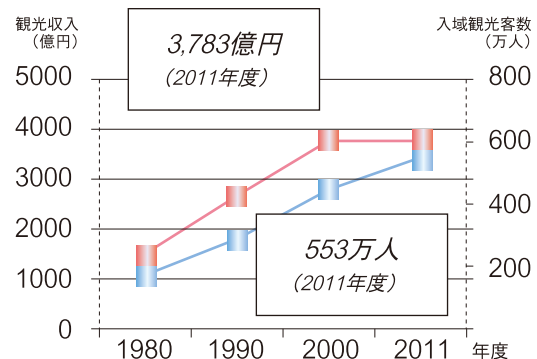


## 5 沖縄観光の状況

1972年以降、順調に伸びてきた観光収入と観光客数ですが、近年はそれぞれ4,000億円前後、500～600万人の間で伸び悩んでいます。また滞在日数も減少傾向から近年は横ばい、観光客の一人あたり県内消費額についても緩やかに下降しています。

誘客に不可欠な航空路線については、国内便は2007年度から路線数が減少しています。一方、国際便はソウル、台北、香港、上海に加え、2011年度到北京、グアムの2路線が加わり、6路線となっています。

＜観光収入と入域観光客数＞



## 6 今後10年間で対応すべき沖縄観光の課題

沖縄観光にかかわる外部環境および内部環境を踏まえて、本計画で目指す10年後の沖縄観光の将来像を実現するため、今後10年間で対応すべき課題について、以下のように整理しました。

### 今後10年間で対応すべき沖縄観光の課題

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 観光地間の国際競争への対応 | 4. 持続的な観光基盤の整備       |
| 2. 環境問題への対応      | 5. 観光に対する県民理解のさらなる促進 |
| 3. 基幹産業としての役割の発揮 | 6. 観光振興に資する人材育成の推進   |